

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信
2017.04.01

Vol. **10**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	6
米山記念奨学生終了式・歓送会 報告	2	会員数および出席報告	7
R 財団地区奨学生オリエンテーション 報告	3	コーディネーターNEWS	8
第2回会員増強会議 報告	4	ハイライトよねやま	9
クラブ会長エレクト研修セミナー 報告	5	米山梅吉記念館便り・ロータリー文庫通信	11

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

穏やかなひとときを

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



春の訪れとともに暖かな日が多くなり、桜前線が近づく春景色の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。私自身、春の陽だまりの中で、ほんの少し穏やかなひとときを過ごしたいと思う反面、今年度の仕上げと新旧の引継ぎに向け、ラストスパートをかける時期に入りました。

同時に、先月3月18日には新保年度の会長エレクト研修セミナー（PETS）が開催され、また来月5月14日には地区研修・協議会が予定されており、新保年度のスタートに向けた準備もいよいよ大詰めを迎えます。クラブ会長エレクトの皆さまが、新保ガバナーエレクトの方針のもと、新たな観点で新年度のクラブ運営への準備をしっかりと整えられることを期待します。

ところで、昨年の地区大会初日11月5日に鈴木重彦 PG が委員長を務める地区運営改善検討委員会の提言により決定していました「地区事務所の固定化、ガバナーの輪番制、地区運営改善検討委員会（仮称）の常態化」を推進するために、去る2月25日「地区事務所固定化等に関する作業部会」を設置しました。その委員には、鈴木重彦 PG（長岡 RC）以下、小林敏夫さん（長岡西 RC）、丹治芳子さん（新潟万代 RC）、関川博さん（三条 RC）、伊藤秀夫さん（新潟万代 RC）、佐野勝榮さん（三条 RC）を任命し、地区諮問委員会へ報告し賛同を得たことを、ここに報告致します。なお、その旨を地区の会員の皆さまにもお伝えできるように、別途、あらためて報告させていただきます。

現在、時代の流れや社会のニーズの多様化によって、ロータリーを取り巻く環境は刻々と変化しています。当地区の運営も今、現状をしっかりと振り返り、抱えている課題を洗い出し、そして、適切な判断のもと、将来に向けた改善につなげていかなければなりません。前述の作業部会の活動も、その改善への取組みの一つです。また、皆さまが常日頃、クラブ運営を通して感じている問題点があるとすれば、それは改善へと向かって進む糧となり、必ずや大きな改善の成果へと結びつく第一歩となるはずです。どうぞ、皆さまの声をご遠慮なくお聞かせ下さい。

やはり、春です。ほんの少しだけ穏やかなひとときを過ごそうと思います。花冷えの折、皆様くれぐれもご自愛下さい。

米山記念奨学生終了式・歓送会

国際ロータリー第2560地区

米山記念奨学委員会

奨学生学友委員長 原 正(新潟南 RC)

去る3月4日(土)長岡市の長岡グランドホテルにて2017年3月終了者13名、6月終了者1名、9月終了者1名合計15名の米山記念奨学生終了式・歓送会が行われました。当日は、小雨模様にもかかわらず田中ガバナー・新保ガバナーエレクトはじめカウンセラー・指導教員・継続奨学生とそのカウンセラー・地区役員など総勢60名の方に出席を頂き誠にありがとう御座いました。

終了式では、田中政春ガバナーの蒞臨有るご挨拶に始まり、植木康之米山記念奨学会理事のご挨拶に引き続いて終了生一人一人に終了証が授与されました。終了生を代表して李英姫(リエイキ)さんから2年間の思い出や馬場カウンセラーとのエピソードなど素晴らしいスピーチをして頂きました。続いて、カウンセラーを代表して水上喜芳(高田 RC)さんに感謝状の授与が行われ、カウンセラーを経験して良かったことや白麗萍(ハクレイヘイ)さんとの思い出などのご挨拶がありました。最後に事業創造大学院大学の唐木宏一教授と田中雅史米山記念奨学委員長から心温まる贈る言葉を頂き緊張と感動の終了式が終了しました。



全員での記念撮影の後、新保清久ガバナーエレクトのご挨拶と乾杯で、和気あいあいと和やかなムードで歓送懇親会がスタートしました。

あちらこちらで別れを惜しんでの写真撮影が繰り広げられ、笑いあり涙ありで懇親会が盛り上がっていきます。終了生一人一人にマイクを向けると、カウンセラーとの思い出、昨年9月に行われた研修旅行でのこと、何よりも米山奨学生になれて生活が一変し本当に感謝していることや卒業後も学友となって活動し母国と日本の架け橋になる決意が口々に語られました。最後は恒例の「手に手つないで」と房文慧(ファンウェンウィー)学友会会長の中締めで終了しました。

米山記念奨学生は、ロータリアンお一人お一人の大切なご寄付によって支えられております。今後とも厚いご支援ご声援をお願い致します。



ロータリー財団地区奨学生オリエンテーション

国際ロータリー第2560地区

ロータリー財団委員会

奨学金委員長 斎藤 秀明（新潟南 RC）

去る3月11日新潟市の万代シルバーホテルにおきまして2017-2018年度地区奨学生候補者（和田直さん、高橋希絵さん）に対するオリエンテーションが開催されました。

佐々木ロータリー財団委員長からの激励の挨拶をいただいた後、奨学生候補者のお二人より、現在の心境や決意の言葉をいただきました。

和田さんは翻訳の仕事を通して世界の平和に貢献したい。

高橋さんは人生を豊かにしてくれる音楽で社会貢献をしたいと力強く語ってくれました。希望に満ちた挨拶に我々委員会メンバーも、心を動かされました。

続いて、これからのスケジュールや奨学生の役割と責務、そして勉学に勤しむ事はもちろん、親善大使として日本や新潟の事をたくさん伝えてほしい事などの説明がなされ、高橋学友会委員長からは、実体験を踏まえての心構えや、留学先のロータリークラブへ伺う際の準備について、2014-2015地区奨学生の小林佳乃子さんからは、生活習慣の異なる国からの学生に最初は困惑したり気持ちが滅入ってしまう事もあったけれど、違って当たり前！受け入れる事が大切だとアドバイスをいただきました。

スポンサークラブの新潟ロータリークラブ宇尾野会長と、白根ロータリークラブ小山会長からもお二人に対し激励の言葉をいただき、最後は新保ガバナーエレクトの挨拶でオリエンテーションは終了しました。

その後は、昼食をとりながら、リラックスした中お二人の現在の状況に話が弾みました。高橋さんは現在もオペラ歌手、グレードUPして帰国したら是非とも唄って頂ける機会を作りたいものです。

ロータリー財団に対する皆さまからのご寄付によって、有意な人材に異国での勉学、そしてグローバルな視点を持って社会に貢献できる人材を育む機会を与えて頂いております事に感謝いたします。ありがとうございます。



2016 - 17 年度第 2 回会員増強会議報告

国際ロータリー第 2 5 6 0 地区

クラブ奉仕委員長 浦上 義昭（長岡西 RC）

2017 年 3 月 11 日(土)13:30～16:00 まで長岡ベルナールにおいて
2016 - 17 年度第 2 回会員増強会議が開催されました。

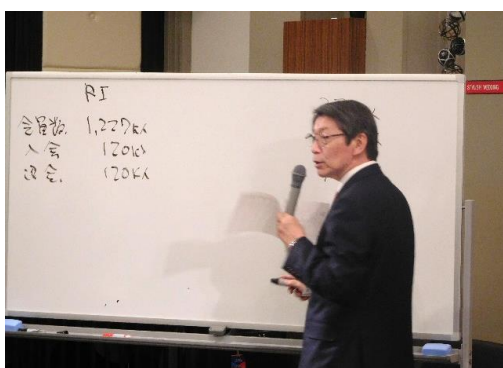
最初に、浦上地区クラブ奉仕委員長より「増強とは実はクラブ維持の
面が有るから大切で、現状の増加数では年度末の退会者を考えるともう
一歩の努力が必要」との開会の言葉に続き、田中政春ガバナーより「地
域の活性化はロータリーの力による所が多いのでその意味でも増強を
お願いします」と挨拶がありました。

続いて、地区会員増強委員長の山本和則パストガバナーより「会員維持力を高めるには会員の満足度を高
めること。また、新会員オリエンテーションも大切であり“メンター”（新人や後輩の相談に乗ったり助言
をする人）の役割も大きい」とお話があり、新潟万代ロータリーの赤塚委員長からは合同体験入会は効果が
あったと具体的な報告をいただきました。

その後、分区会議を 5 0 分行い、各ガバナー補佐より報告をしていただきました。RC の案内ミニパンフ
レットを持ち歩く、新入会員に新会員を紹介してもらい、委員長を多年度性にする、分区再編についてのお
願い…等の発表がありました。

小林敏夫地区幹事の閉会の言葉の後 18:00 まで和やかに懇親会を行い、閉会となりました。

以上、ご報告とさせていただきます。



緊張感の中、リズミカルに P E T S は進行了しました

国際ロータリー第 2560 地区

P E T S 実行委員長 名児耶 稔 (新潟万代 RC)

去る 3 月 18 日 (土)、国際ロータリー第 2560 地区 2017~2018 年度会長エレクト研修セミナーが、ホストクラブ新潟万代 RC、コ・ホストクラブ新潟南 RC、新潟西 RC のもとホテルオークラ新潟において開催されました。春の好天に恵まれ、会長エレクト、次期幹事、次期地区役員計 168 名のご参加をいただきました。

10 時、新保清久ガバナーエレクトの点鐘に始まり、田中政春ガバナーから「会長が成長すれば会員も成長する」と会長エレクトを激励され、研修会が始まりました。

新保清久ガバナーエレクトから、2017~2018 年度国際ロータリー会長イアン H. S. ライズリー氏の新年度の基本方針が発表されました。それは「ロータリー：変化をもたらす」です。RI のテーマを受け新保清久ガバナーエレクトは第 2560 地区のテーマを

「クラブと地区の変革をめざそう」「Making A Difference in My Club and Our District」と提示いたしました。昼食、休憩後の全体セミナーでは、

山本和則地区研修リーダーは、昨年の規定審議会の決定を例に挙げ、ロータリーの変化をわかりやすく説明され、課題を提示されました。

新保清久ガバナーエレクトは「会長は例会において、常にロータリーの良さを熱く熱く語り、会長にはロータリー博士になっていただきたい」と語りかけました。

大澤力クラブ戦略計画推進委員会委員長はクラブの会長エレクト、次期幹事に、国際ロータリー戦略計画の最新情報と、My Rotary アカウント登録方法、クラブ・セントラル利用方法、戦略立案方法等を研修の成果としてお持ち帰り願いたいと要望されました。

会場を変え、分区セミナーの始まりです。皆さん多少お疲れ気味、眠気を吹き飛ばして分区セミナーではガバナー補佐を中心に活発な討議、情報交換がなされました。

さて、懇親会です。雰囲気も変わり、丸テーブルを囲み皆様くつろいだ表情です。アトラクションでは、分区対抗ビール利き酒大会が行われ、分区、地区の代表がステージに登壇し日頃のど越しを確かめ、味覚を競い、楽しい時間を過ごしました。

優勝に輝いた方は地区社会奉仕委員長 保莉玲子さんです。おめでとうございます。賞品はホテルオークラ新潟宿泊券 2 名様分、そして真っ赤なチューリップの花束。地区バッジのデザインと同じチューリップの花束です。

閉宴時には、石動竹治地区大会実行委員長の掛け声のもと新保年度の成功を祈念し、三本で締め、参加者全員がこれからの 1 年への思いを一つにすることができました。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC 名	お名前	入会日	会社名
新 発 田	遠 藤 裕 治	2017.02.27	(株)きらやか銀行新発田支店
見 附	今 井 誠	2017.03.01	(有)今井冷暖
長 岡 西	星 野 昌 弘	2017.02.16	(有)タイヤショップホシノ
長 岡 西	多 田 保 夫	2017.03.02	越後交通工業(株)
長 岡 西	善 財 康 行	2017.03.02	マルゼン メディ・ケア(株)

訃 報

白根 RC 田中 幹人 様 2月18日ご逝去

吉田 RC 伊藤 辰也 様 3月11日ご逝去



故人のご冥福をお祈りいたします・・・

第2560地区 2016-17年度 2月末 会員数および出席報告

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現在	2月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	83.44	371	370	35	-1
新発田	3	94.60	97	98	0	1
村上	4	85.71	36	36	8	0
水原	4	76.29	25	26	0	1
中条	4	85.42	35	36	3	1
新発田城南	4	87.16	40	39	4	-1
豊栄	4	83.65	27	27	3	0
新発田中央	3	75.91	48	47	5	-1
中条胎内	4	81.06	33	33	6	0
村上岩船	4	81.20	30	28	6	-2
第2分区(9クラブ)	／	79.70	440	454	20	14
新潟	4	87.68	92	99	0	7
新潟東	4	80.45	62	62	8	0
新潟南	4	77.50	97	102	2	5
佐渡	4	78.50	7	7	0	0
新潟西	4	78.88	37	40	1	3
佐渡南	4	77.56	42	42	4	0
新潟北	4	78.57	42	43	0	1
新潟中央	4	78.00	25	25	0	0
新潟万代	4	80.15	36	34	5	-2
第3分区(6クラブ)	／	74.72	131	126	8	-5
新津	4	70.84	19	18	0	-1
村松	4	90.90	10	11	0	1
五泉	4	73.43	18	17	3	-1
白根	3	73.80	42	41	3	-1
新津中央	4	75.90	31	28	1	-3
阿賀野川ライン	2	63.43	11	11	1	0
第4分区(11クラブ)	／	76.33	362	370	22	8
三条	4	86.77	55	57	0	2
燕	4	66.46	33	34	1	1
加茂	4	91.07	28	28	4	0
三条南	3	87.85	51	48	2	-3
分水	3	70.70	32	33	3	1
見附	4	74.00	20	19	1	-1
吉田	4	72.79	32	34	2	2
三条北	4	80.30	65	66	3	1
巻	4	80.90	9	13	0	4
田上あじさい	4	57.10	6	7	1	1
三条東	4	71.67	31	31	5	0

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現在	2月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	84.29	313	324	27	11
長岡	4	89.16	40	44	2	4
柏崎	4	76.54	42	46	0	4
長岡東	3	90.75	69	69	6	0
柏崎東	4	90.21	53	55	5	2
栃尾	3	74.60	21	21	0	0
長岡西	4	84.45	52	54	6	2
柏崎中央	4	84.29	36	35	8	-1
第6分区(6クラブ)	／	81.15	156	161	11	5
十日町	4	94.99	34	35	3	1
小千谷	4	76.84	40	40	3	0
雪国魚沼	4	71.10	24	27	4	3
十日町北	3	95.83	23	24	0	1
津南	4	73.15	27	27	1	0
越後魚沼	4	75.00	8	8	0	0
第7分区(8クラブ)	／	78.07	324	326	27	2
高田	4	98.64	61	66	0	5
直江津	4	69.64	51	49	3	-2
新井	4	69.36	32	32	3	0
糸魚川	4	59.88	42	43	3	1
高田東	3	76.92	40	39	2	-1
糸魚川中央	4	73.48	36	33	0	-3
頸北	4	90.40	15	15	1	0
越後春日山	4	86.24	47	49	15	2

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
2月末 会員数	2,131	人
女性会員数	150	人
純増減会員数	34	人
当月平均出席率	79.60	%

Rotary

Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2017年4月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RPIC



■ クラブ数	会員数
Zone 1	829 28,744
Zone 2	653 28,224
Zone 3	791 32,983
合計	2,273 89,951

2017年3月8日現在の Rotary Club Centralのデータによります。
第2ゾーンの数値には
GUAM, MICRONESIA, NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数
186件 (1. 2. 3ゾーン合計)



ロータリーって何？

自分自身と自分の職業を磨きながら
地域や国際社会に奉仕する団体です
あなたも参加しませんか？ Rotary

■ Rotaryって何？

この問いをロータリアン各人に質すと、おそらく100人100様でしょう。
これでは、世間の方々にロータリーを理解して頂く事は出来ないでしょう。
○先ずは、クラブでこの事を話し合ってみましょう。
○何を説明するか？ つまり何を話題にするのか？ を考えましょう。
○説明する言葉（文字数）は、少なければ少ない程良いでしょう。
文字数が多くなれば、その分印象が薄くなります。

ロータリーを正しく伝える為に、先ずは「ロータリーの目的」を伝えるべきです。
「ロータリーの目的」は大分解り易くなりました。四項目を要約すると

- ・ 知り合いを広め奉仕の機会とする。
- ・ 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものとする。
- ・ 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する。
- ・ ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する。

上記を少し短くしてみました。[第2570地区公共イメージ委員会作成の例]

「ロータリーって何？ 自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。」
「ロータリーは、自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。その一環として私達のクラブは、地域で青少年育成事業の支援を行っています。」と訴えれば理解されるでしょう。

更に短く考えた川柳の例もあります。「我磨き仕事を磨くロータリー、地域や世界で奉仕活動」

さあ！あなたのクラブでも「ロータリーを短く表す」事にチャレンジしませんか。

■ 同一地域に複数クラブが存在する場合

この場合は、同一地域の複数クラブが歩調を合わせた社会奉仕を行ったら如何でしょうか？
夫々のクラブが、協働してこそ効果が表れます。
各クラブの歩調が合っていないと、（広報の面からは）夫々がマイナス効果となってしまいます。

■ 最期に一言

効果を期待するなら、直ぐに実行すべきです。議論しても実行しなければ何の効果もありません。
上方の写真は、第2570地区で広報シートを作成して大型バスのリアウィンドウに貼り付けた例です。

小池百合子東京都知事は29年2月の記者会見のある場面で「NATOにならないようにしよう」と言いました。
「No Action Talk Only」では先へ進まないという事です。
勿論、本来のNATO…北大西洋条約機構を否定する言葉ではありません。念の為。

(第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 鈴木秀憲)



ハイライトよねやま 204

2017年3月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — やや回復傾向に—

2月までの寄付金は、前年同期と比べて5.2%減（普通寄付金1.1%増、特別寄付金8.6%減）、約6千万円の減少となりました。7月からの累計金額は直近5年間のほぼ平均額ですが、2月単月では3カ月ぶりに対前年同月比がプラスとなりました。多くのロータリアン、学友の皆さまからのご支援に心から厚く御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半となりました。年度末に向けて、さらなるご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ミャンマーに9番目の海外米山学友会が誕生！

ミャンマー出身の学友・奨学生 22人が2月25日、ヤンゴン市内に集まり、海外9番目の米山学友会となるミャンマー米山学友会の設立総会が開催されました。初代会長に就任したタンシンナインさん（2003-05／東京調布RC）は東京米山ロータリーEクラブ 2750の会員であり、同学友会の創立を心待ちにしていた第2750地区会員をはじめ、学友の世話クラブ会員、当会から小沢一彦理事長と岩邊



事務局長など、日本から多数のゲストが出席。また、2014年に旭日小綬賞を受章したミャンマー初の米山奨学生、アウン・チョウさん（1962-66／東京北RC・東京南RC）も家族とともに参加し、総勢約60人が設立を祝いました。地道に学友を探して学友会設立への準備を重ねてきたタンシンナインさんは、「今後は、日本語を学ぶ学生への奨学金支給や貧しい小中学校への支援なども行いたい」と、抱負を語りました。

マレーシア米山学友会が設立記念パーティーを開催

昨年9月に設立されたマレーシア米山学友会の設立記念パーティーが2月18日、ペナンで開催されました。マレーシア出身の奨学生・学友 20人のほか、初代会長となった黄麗容さん（2001-04／横浜泉RC）の出身である第2590地区の米山記念奨学委員会メンバーをはじめ、第2780地区・第2660地区・第2550地区のロータリアン、関西・台湾・タイの各米山学友会の会長や会員、家族など多数が参加。また、地元のジョージタウンRC、ペナンRCの会員も祝福にかけつけ、総勢113人の盛会となりました。パーティーでは、学友会の立ち上げから参画している現役奨学生、チュアー、チーシェンさん（真岡RC）の司会のもと、黄会長から設立に至るまでの経緯や感謝が述べられ、在ペナン日本国総領事や当会の小沢理事長から、学友会への期待を込めた祝辞が贈られました。



余興の民族舞踊にゲストも参加するなど、終始楽しいムードで盛り上がり、日本からの参加者の一人は、「あらためて米山奨学事業に加わることができることへ感謝の思いが湧き、ロータリアンであることをうれしく感じました」と、感想を述べてくださいました。

学友が「若者力大賞」を受賞！

社会のために情熱を持って活動に取り組む若者とその支援者を表彰する「若者力大賞」（主催：公益財団法人日本ユースリーダー協会）の授賞式が2月21日に開かれ、米山学友のジギャン・クマル・タパさん（2008-09／横浜たまRC）が第8回若者力大賞を受賞しました。外国人の受賞は今回が初とあり、当日は駐日ネパール大使のほか、在日ネパール人協会関係者、ネパールの報道関係者も多数駆けつけました。

タパさんは現在、かながわ国際交流財団職員および駐日ネパール大使公式通訳者として活躍していますが、地域への政策提言のほか、日本の学生が海外への理解を深める講演活動、また、ネパール大地震や熊本地震など被災地における継続的支援といった、幅広い活動と行動力が評価され、69組のエントリーの中から見事大賞に輝きました。



大賞を受賞したタパさん（前列左から3人目）

ただいま！久しぶりの世話クラブ訪問

董際国さん（中国／1998-99）は今年1月、約20年ぶりに世話クラブの山形中央RCを訪問し、新年会に参加して会員との交流や餅つきを楽しんだほか、博士号取得の記念品を受け取りました。「多くのロータリアンの方が私を見て“思い出した！”とニコニコし、里帰りしたような温かい記憶が蘇りました。（博士号取得記念の）腕時計は私の一生の宝で、誇りです」と語り、今度は家族での再訪を約束しました。

剣道の中国代表選手となった楊敢峰さん（中国／2004-05）は2月10日、教え子である蘇州大学の学生3人とともに来日し、水戸南RCを訪問。カウンセラーの奥様の墓参りをしたほか、例会で自身の近況を報告し、学生が中国武術や太極拳を披露しました。「知っている会員は少なくなったが、中国へ帰国後の自分の活動をみなさんに報告できてホッとしました。今もこれからも米山奨学金に感謝しています」と、語りました。

また、関美玲さん（中国／2003-04）も2月17日に上海から東京武蔵府中RCを訪れ、会員に近況を報告。「緊張して頭が真っ白になり、何をご挨拶したか覚えていないくらいですが、米山奨学金のおかげで実験や論文作成に集中できた当時が昨日のこのように脳裏に浮かび、本当に感動しました」と、述べました。

南米ホンジュラスからはるばる来日したエドナ・スヤパ・メヒア・ガルダメスさん（2006-07）は帰国以来10年ぶりに来日し、世話クラブの東広島RCの例会を1月に訪問。同クラブでは今後、母国で日本語を教える幼稚園・小学校を設立したエドナさんとの交流を深め、活動を応援していきたいと考えているそうです。



米山梅吉記念館便り

シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。

ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行
(前列中央・米山) ((財)三井文庫提供)

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館

登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

文庫通信 (355号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演他

- | | | | | |
|--------------------|-----------------|--------|-----|----------------------------|
| ◎「日本の出番、祖国は甦る」 | 青山繁晴 | 2016 | 1p | (D.2680地区大会記録誌) |
| ◎「世界の中の日本」 | 五百旗頭 真 | 2016 | 9p | (第44回ロータリー研究会報告書) |
| ◎「日本のこころ」 | 松長有慶 | 2015 | 7p | (D.2660地区大会記録書) |
| ◎「職業奉仕の今日的課題と永続企業」 | パネラー：前川洋一郎・山本泰人 | | | |
| | 中川雅雄 | 2016 | 6p | (D.2580地区大会記念誌) |
| ◎「21世紀をどう生きるか」 | 安平和彦 | [2016] | 15p | (D.2670・D.2680第38回RYLA報告書) |
| ◎「現代家族の課題」 | 白石大介 | [2016] | 12p | (D.2670・D.2680第38回RYLA報告書) |
| ◎「ダウン症の娘と共に生きて」 | 金澤泰子 | 2017 | 6p | (D.2690地区大会記念誌) |
| ◎「夢に向かって」 | 根木慎志 | 2016 | 7p | (D.2750第36回インターアクト年次大会報告書) |
| ◎「若者の未来のためにできること」 | 養老孟司 | 2015 | 11p | (D.2660地区大会記録書) |
| ◎「父が見つけてくれたもの」 | 小林 真 | 2011 | 6p | (奉仕のともしびを高く掲げて) |

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日